

令和
6年度

石狩教育局 指導3班通信

ISHIKARI
District Office of Education
北海道教育庁石狩教育局
令和6年11月8日発行 第8号

今号では、高等学校教育指導班から「令和7年度（2025年度）道立高等学校入学者選抜の実施に向けて」、義務教育指導班から「学校力向上に関する総合実践事業」、社会教育指導班から「北海道地学協働アドバイザー」について紹介します。

高等学校教育指導班

令和7年度（2025年度）道立高等学校入学者選抜の実施に向けて

令和6年（2024年）9月30日付け教学向第239号「令和7年度（2025年度）道立高等学校入学者選抜の実施について」により、道立高等学校入学者選抜の「ルールブック」である実施要項（手引き）が通達されました。今年度の手引きの説明については、オンデマンドの説明動画及びオンライン形式の説明会により実施しました。

10月24日（木）に行ったオンライン形式の説明会における説明の要点を次のとおりまとめましたので、確認願います。

1 学力検査問題について

出題の方針（手引き 17 ページ）

- 義務教育段階での課題を反映したものとなるよう改善
- 「入学者選抜状況報告書」の活用や定期テスト等を工夫、改善



【R6 入選状況報告書】

2 主な改正点について

- (1) ウェブ申請の導入について（手引き9ページ～）
「令和7年度道立高等学校入学者選抜出願手続（ウェブ申請・願書提出）マニュアル」を参照
※11月に発行予定
- (2) 推薦入学者選抜に係る面接の実施日（手引き 63 ページ・82 ページ・93 ページ）
2日日程で面接等の実施が可能
- (3) 定時制の課程における第2次募集終了後の対応（手引き 26 ページ）
受付期間：令和7年4月18日（金）まで

3 ミスの防止について

【チェックリスト】

- 一連の入選業務が網羅された実施要項（マニュアル）となっているか。前年度からの変更点が確実に反映されているか。
- 作成、点検、再点検の内容・業務分担が明確になっているか。
- 管理職等が点検状況の確認を十分行うことになっているとともに、報告文書等の校長決裁について明記されているか。

4 特別な配慮を必要とする生徒の出願について

出願前に、中学校と高校で適切に連携を図り、次のことを把握すること

- 入学者選抜当日において必要な特別な配慮は何か
- 入学後において必要な特別な配慮は何か

※「読字障がい」「医療的ケア」「病院受検」など→早めに教育局に情報提供をお願いします。

入選業務はこれから約半年の長丁場となりますが、出願する生徒のために、適切に入学者選抜が実施できるよう、中学校、高校、教育局で連携を密にして進めましょう。

（高等学校教育指導班主査 鈴木 肇）

義務教育指導班

学校力向上に関する総合実践事業



恵庭市と北広島市の中学校2校を中核校、小学校4校を指定校として、管理職のリーダーシップの下、全教職員が一つのチームとなり、ICTを活用した教育の充実と、「北海道アクション・プラン(第3期)」を踏まえた働き方改革の実施を重点として、取組を進めています。

<ICT端末の活用に向けて> (北海道教育庁学校教育局義務教育課)

段階	ステップ1 (積極的に活用する)	ステップ2 (効果的に活用する)	ステップ3 (主体的に活用する)
児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> 検索サイトを活用した調べ学習 キーボード等による文字入力 文書作成ソフト、プレゼンソフトを活用した資料等の作成 デジタル教材を活用した問題解決 など 	<ul style="list-style-type: none"> クラウドを活用した考えの共有、資料等の共同作成、閲覧 ウェブ会議やチャット機能等を活用した意見交換 各種ソフト等を活用した情報の分析、加工 など 	<ul style="list-style-type: none"> 探究のプロセス(学習活動の各段階)の様々な場面において、各種ソフト等を目的に応じて選択、活用して問題解決 など
	<ul style="list-style-type: none"> 朝の健康観察、アンケート等に関する回答 休み時間や放課後等における各種ソフトの活用 など 	<ul style="list-style-type: none"> クラウドを活用した資料等の共同作成、閲覧 ウェブ会議やチャット機能等を活用した係活動、児童会・生徒会活動、部活動等の連絡 学習の予定や計画等の作成、閲覧 など 	<ul style="list-style-type: none"> ウェブ会議やチャット機能等を目的に応じて選択、活用して意見交換 授業と連動した個別の課題を解決する家庭学習 など
教職員	業務の効率化、事務作業にかかる時間の減少により、本来担うべき業務に専念 <ul style="list-style-type: none"> ウェブ会議を活用した会議や研修等 クラウドを活用したデータ連携・データ分析(アンケート集計、学籍・保健管理等) クラウドを活用した各種資料の共有(会議資料、学習指導案や教材、実践事例等) クラウドを活用した保護者等との連絡(懇談会等の日程集約や出欠確認等) 		

中核校と指定校では、ICTを有効活用し、授業改革と業務改善を進めています。

特に、左の表のステップ2とステップ3を中心に、授業等でのICT活用を推進しています。

クラウドを活用したアンケートや会議資料の共有、ウェブ会議による研修など、ICTを活用し、業務の効率化を図っています。

本事業を通して、中核校・指定校では、「資質・能力の確実な育成・定着」と「学校組織の強化・活性化→人材育成」につなげています。

学校力向上に関する総合実践事業の中核校・指定校においては、全教職員が一つのチームとなって、児童生徒の資質・能力の育成に向け、ICTを有効活用し、日常の授業改革を進めています。学校力の取組が、各学校の授業改革と業務改善につながるよう、取組の成果を発信します。(義務教育指導班主査 関 口 祐太郎)

社会教育指導班

地域と学校の連携のためにアドバイザーを活用しませんか。



学校運営の改善・充実や学校と地域の連携・協働、地域創生等に関する課題の解決や推進方策について助言を行う北海道地学協働アドバイザー派遣事業を紹介します。

管内教育推進の重点3「地域と歩む接続可能な教育体制の実現」に向け、今年度のまとめや次年度の教育課程の見直しに向けた学校運営協議会を進めるために活用を御検討ください。

北海道地学協働アドバイザーの活用例

- 学校運営協議会の参観及び学校運営協議会委員・事務局担当者への助言
- 学校運営協議会委員・事務局担当者向け研修会における講話や講演
- 教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員への助言

溝渕氏が新規アドバイザーに加わりました。「ファシリテーター」や「熟議の進め方」など会議を円滑に進めるためのスキルについての講話や講演も可能です。



派遣先について

道立学校・市町村教育委員会・市町村立学校
市町村が設置する地域学校協働本部

派遣要請について

・令和6年(2024年)5月7日付け教社第270号通知を参照(北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課長より)

・広報誌「地学協働」
No. 21・24を参照

広報誌「地学協働」LINK

<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/132270.html>



北海道地学協働アドバイザーの派遣要請のほか、石狩教育局社会教育指導班巡回訪問(要請訪問)の依頼も可能です。

学校運営協議会における「熟議」の進め方や、「学校と地域の連携」などについて、今年度の取組を踏まえた次年度の進め方などについて、学校運営協議会の状況を把握しながら支援します。
社会教育指導班社会教育主事 只野浩太